

★「6歳臼歯」は歯の王様★

6歳臼歯はとても重要な歯ですが、永久歯の中でもっともむし歯になりやすい歯です。そのため早い時期から6歳臼歯を守っていく事が大切です。それが、正しい歯並びや咬み合わせ、咀嚼の上達につながります。

6歳臼歯は永久歯の最初に生えてくる一番大切な歯です。

“歯並び”、“かみ合わせ”は6歳臼歯で決まる。

他の永久歯が正しく並ぶための指標であり、上下の咬み合わせの基準になる欠かせないものです。

6歳臼歯が正しい位置に生えるには、幼児期からの口腔管理が必要です。

“食べる機能”は6歳臼歯で決まる。

\*噛む力が一番強い6歳臼歯

成人男性で平均60kg と言われています。

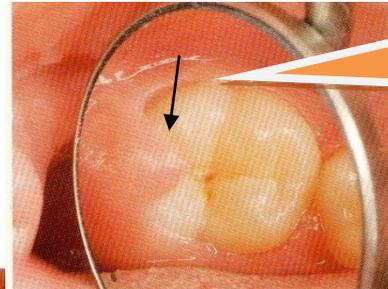
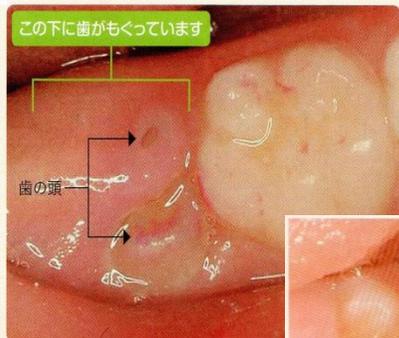
\*6歳臼歯が無いと咀嚼効率が6割減少する

6歳臼歯が無くなる原因はむし歯や歯周病、全身疾患、生活習慣病などありますが、むし歯予防がとても重要です。

6歳臼歯の成り立ち（生えてきた直後からのケアが大切です）

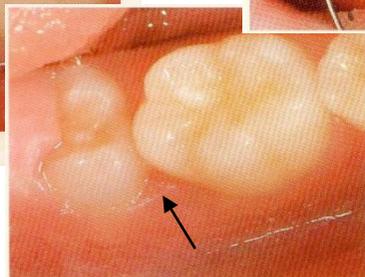
1、初期

3、中期後半

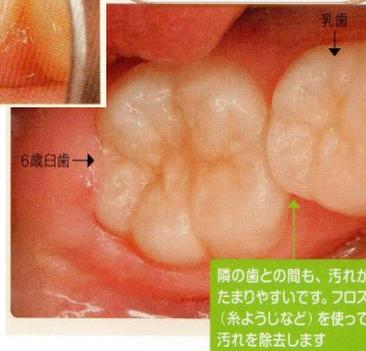


→の部分は特に丁寧な歯みがきが必要！

2、中期前半



4、後期



隣の歯との間も、汚れがたまりやすいです。フロス（糸ようじなど）を使って汚れを除去します

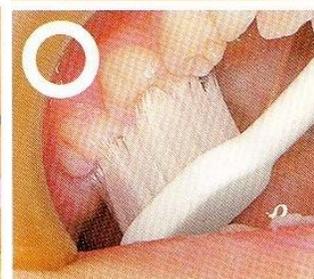
6歳臼歯の歯みがき



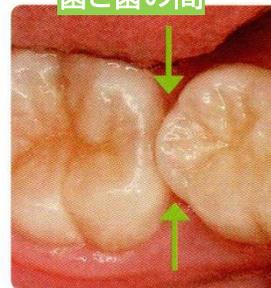
仕上げ磨き



染め出しチェック  
歯垢が赤く染まっています。

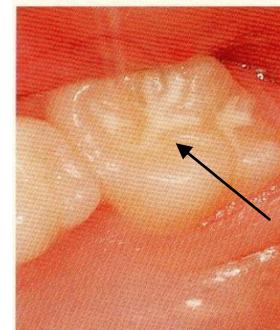


歯と歯の間



糸ようじ

予防的充填 シーラント



6歳臼歯を守るためのチェック

- \* 丁寧な歯みがき
- \* 食生活のチェック
- \* 咬み合わせのチェック
- \* フッ化物の応用
- \* 定期的な健診